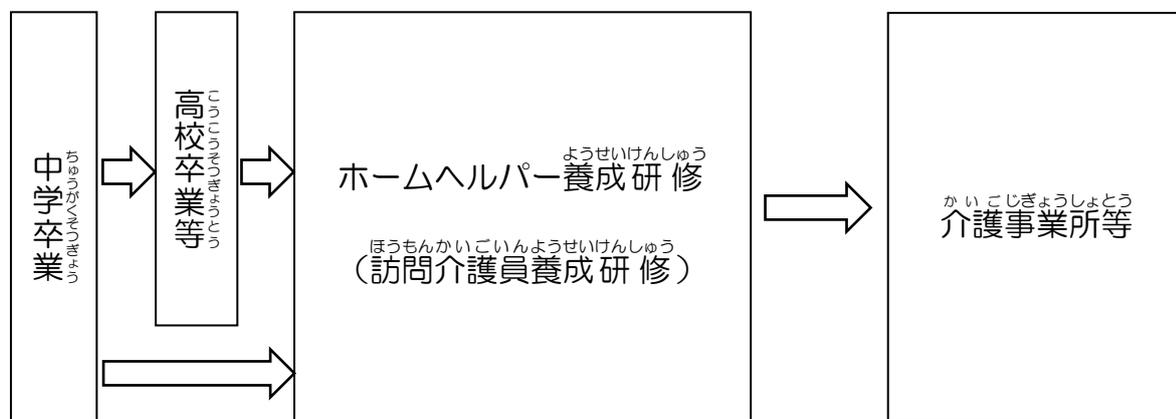


16 ホームヘルパー

ホームヘルパー（訪問看護員）とは、体が弱ってきたお年寄りや体に障がいがある人のために、その人達の自宅を訪問し、食事をつくったり、掃除や片付けをしたり、買い物をするなどお手伝い（ホームヘルプ）をします。ホームヘルパーがお手伝いすることにより、体が不自由になった人でも自分の家で暮らすことができます。

特に、外国人住民のように日本語がわからなくて困っている人にとって、外国語が話せるホームヘルパーは心強い存在となります。

ホームヘルパーになるには



※ホームヘルパーの実務経験3年を経て、実務者研修を受講すれば、介護福祉士実技試験は免除され、学科試験を合格すれば、介護福祉士の資格を取得することができます。

<早くから準備しましょう>

ホームヘルパーになるには、日本語で行われるホームヘルパー養成研修を受けなければなりません。早くから日本語や学校の勉強と母国語の上達に心がけましょう。

<資格を取れば どのところに就職できるの？>

ホームヘルプの事業を行っている、社会福祉法人、医療法人、介護事業を行っている民間事業所等に就職することが一般的です。また、平均年収は約290万円です。

<費用（学費）はどれくらい？>

各都道府県が指定した養成機関で実施しているホームヘルパー養成研修（訪問介護員養成研修）受講するのに7万円位必要です。研修では、講義演習で130時間あり、実習は必要に応じて行われます。また、筆記試験による修了評価（1時間程度）があります。